



なかっこだより

平成30年11月20日 発行

学校だより
第8号
多古町立中村小学校
校長 藤崎 睦

家庭・地域・学校の連携による“中村小学区ミニ集会”が開催！！

①家庭と地域が理解し合い、協力し合う環境づくり ②地域の皆さんの声を学校経営に生かす開かれた学校づくり ③学校を核とした地域コミュニティの構築 の3つのねらいをもった千葉県内 1000カ所ミニ集会。ここ中村地区でも、“中村小学区地域ミニ集会”が、11月14日(水)に開催されました。当日は、午前中に、学校開放日としての『授業参観』を、午後は、地域ミニ集会としての『講演会』や『地域懇談会』を実施しました。



当日は、天候も大変良く、朝から大勢の保護者の皆さんが、お子さんの『授業参観』にお出でいただきました。時間帯によっての出入りはあったものの、トータルして、午前中は、93%の高い参加率でした。保護者の皆さんの、お子さんの授業に対する関心の高さが表れ、とても嬉しく思いました。中でも、5年生を対象にした『命の授業』では、講師として、多古町在住の齋藤 葉子助産師さんを招聘し、授業が展開されました。「心」「体」「命」のついてのお話及び「子宮から生まれてくる体験」「赤ちゃんのだっこ・おむつ替え体験」「妊婦体験・心音を聴く体験」などの体験学習が展開され、参加された保護者の方にとっては、お子さんと一緒になっ

ての体験学習となりました。また、家庭教育学級の一環として、1年生を対象とした『食育の授業』では、講師として、給食センター栄養教諭 萱田 牧子先生を招聘し、授業が展開されました。日頃飲食している食物の栄養に関する授業が展開された後、親子一緒に給食を試食する時間もあり、充実した時を過ごすことができました

午後1時30分からは、『おなか元気教室』と題し、講演会が開催されました。5・6年生児童及び保護者・地域の皆さんを対象に、ヤクルト広報部職員の方々を招聘しての講演会でした。映像有り、子供たちとの実演有り、クイズ有り、面白おかしく展開される中で、とてもためになる「うんち」のお話でした。



5・6年生が退場した後は、家庭や地域の皆さん、学校職員の三者による『地域懇談会』を開催しました。「早寝・早起き・朝ご飯の現状について」と題し、半円の体型で座談会を行いました。本年度は、県教育庁教育振興部指導主事の林修平先生、北総教育事務所指導主事の二瓶 延行先生に御来校いただき、一緒に講演会や地域懇談会に参加していただきました。「家庭や地域の皆さんの温かい雰囲気や協力体制の良さ、そして、家庭・地域と学校との距離の近さが、とても感じられるミニ集会でした。」と御感想を述べられておりました。なお、地域懇談会において、家庭や地域の皆さんから出された御意見を、裏面に取り上げました。

この集会で出た御意見を、今後の学校経営に生かしていきたいと思っております。

◇ 近日、『多古町指定公開研究会』が開催！！

来る27日(火)、『多古町指定公開研究会』がここ中村小学校で開催されます。当日は、指導主事の先生や、多古町教育委員会の先生方をはじめ、多古こども園、多古町の各小学校、多古中学校、多古高校など、多古町の諸先生方が一同に集まっての公開研究会になります。

中村小学校では、1年、3年、6年の各学級で、算数の授業が展開されます。しっかりと授業を聞き、自ら進んで考えたり、積極的に級友と調べたり、相談したり、積極的に発表したりと、児童一人一人の活躍が今から楽しみです。学習は、日頃の積み重ねが大切です。授業と家庭学習との両立で、学力をより一層高めて欲しいと思います。

お知らせ

来る12月1日(土)、『多古町近隣小学校駅伝大会』が開催されます。この大会は、多古町の小学校だけでなく、香取郡市の小学校など、多古町の近隣の小学校もたくさん参加されます。

本大会へ向けて、18日(日)には、多古中学校の陸上部の皆さんの御協力を得て、『小学校4校による合同練習会』が行われました。多古中学校の陸上部の皆さんに、トレーニングの仕方や走り方、たすきの受け渡しの仕方などを伝授していただき、また小・中学校の先輩・後輩として良い意味での交流ができ、大会へ向けての貴重な時間となりました。

<参考> 中村小学区地域ミニ集会 (11月14日(水) 14:30~15:00 実施)

テーマ：『早寝・早起き・朝ご飯』の現状について

～家庭・地域・学校による座談会の中から～

○ 遅寝の原因は？

「社会人の姉の生活に合わせてしまう。」

「部活をして、宿題をして、早く寝られない。部活の無い日は寝られる。普段も、帰ってきて、こたつでうとうと。おやつを食べて寝てしまう。」

「公文(塾)は、水曜、土曜に目一杯やる。終わる時間も、人によって違う。」

「習い事の日は、自主学習を少なめに計画して、自分なりに調節はしている。」

○ ゲームのやり過ぎで、遅寝になることは？

「ある。だから、ルールを決めて、夜9時以降は触れないアプリを入れた。だらだらゲームを出来なくなった。

子供は、夢中になってしまうので、親がセーブしてあげないといけない。」

※ お子さんが、家でゲームをしている方は？ ～約半数の方が挙手されました～

※ その中で、時間制限をしている方は？ ～約半数の方が挙手されました～

○ 朝ご飯を食べているか？

「学校からの距離にもよると思う。5時半から6時頃に子供に声をかけて、起こす親が多いのではないか。」

「食べないのは自分の責任だ、と言いつ聞かせている。」

「朝、宿題をしているから、食べられない。ジュース、ヨーグルトだけは、食べさせている。」

○ 休日の過ごし方は？

「休日に『好きなだけ寝ていいよ。』と、睡眠時間を確保している。それでも、8時頃には起きる。」

「日曜日には、習い事を入れない。フリーの日をつくっている。」

○ 携帯を持たせているか？

「キッズ携帯なら。習い事用で必要。ネット、メールにはロックをかけている。」

○ LINEで問題は起きていないか？

「小学生より中学生では？ 今は問題ない。田舎だし。」

